

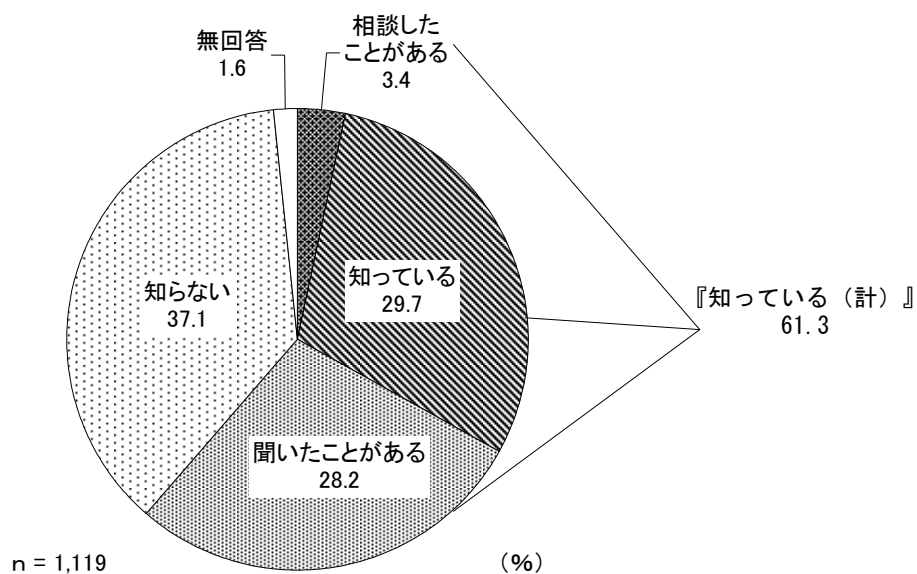
11. 消費者支援

(1) 「大田区立消費者生活センター」での消費者相談実施の認知度

◇「相談したことがある」と「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた『知っている(計)』が6割を超える

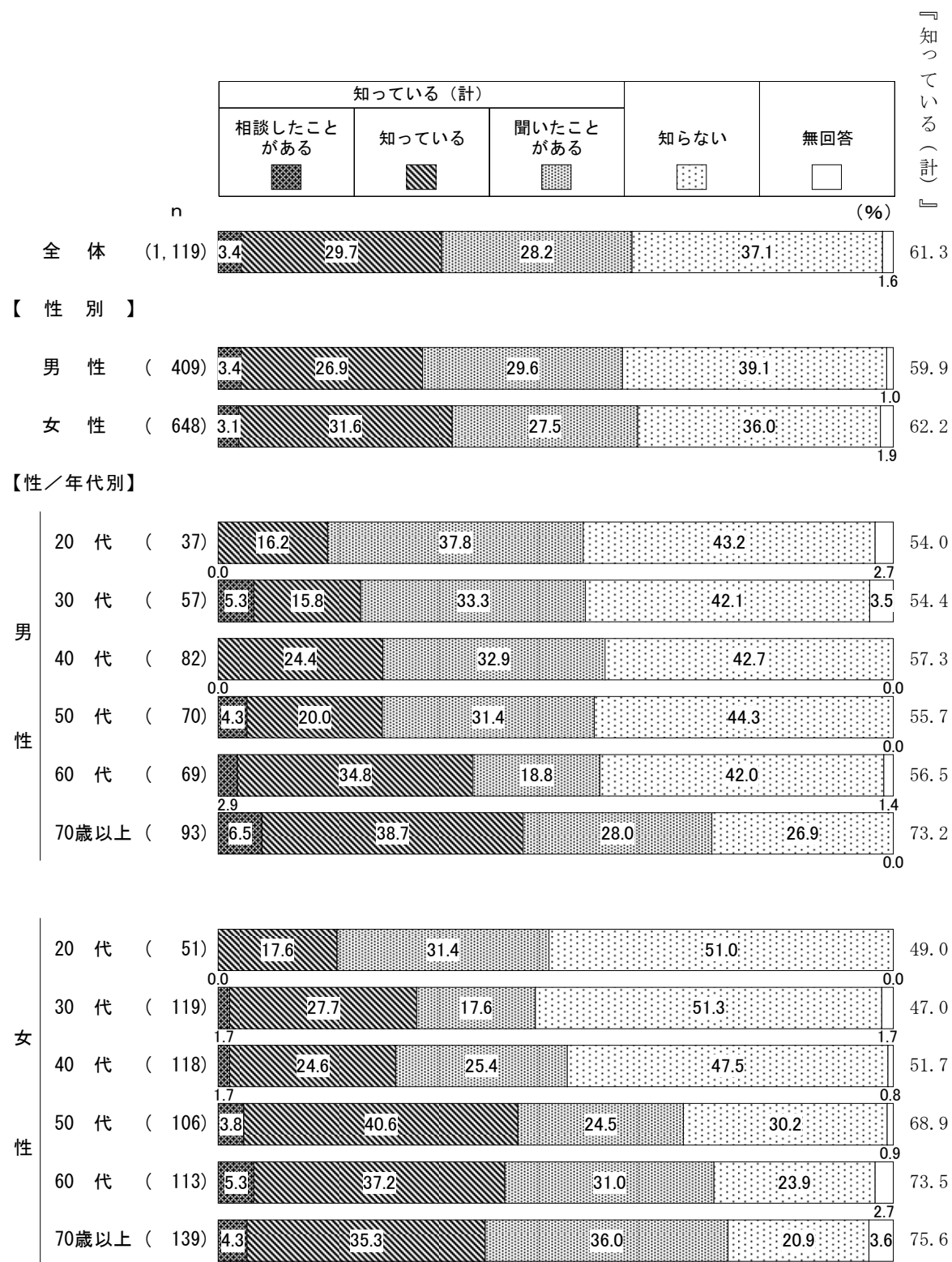
問 19 あなたは、「大田区立消費者生活センター」で、各種消費者相談を行っていることをご存知ですか。(〇は1つだけ)

図 11-1-1



「大田区立消費者生活センター」で、各種消費者相談を行っていることを知っているか聞いたところ、「相談したことがある」(3.4%)と「知っている」(29.7%)と「聞いたことがある」(28.2%)を合わせた『知っている(計)』(61.3%)は6割を超えている。一方、「知らない」(37.1%)は4割近くとなっている。(図 11-1-1)

図 11-1-2 「大田区立消費者生活センター」での消費者相談実施の認知度－性／年代別



性別でみると、「知っている」は女性（31.6%）が男性（26.9%）より4.7ポイント高くなっている。

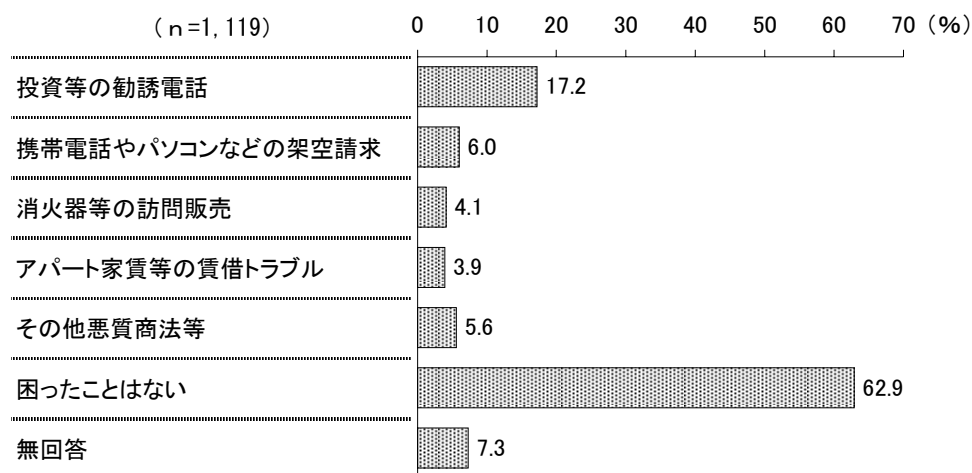
性／年代別でみると、『知っている（計）』は女性の60代（73.5%）と70歳以上（75.6%）、男性70歳以上（73.2%）で7割台と高くなっている。（図11-1-2）

(2) 生活の中で困ったこと

◇「投資等の勧誘電話」が2割近く

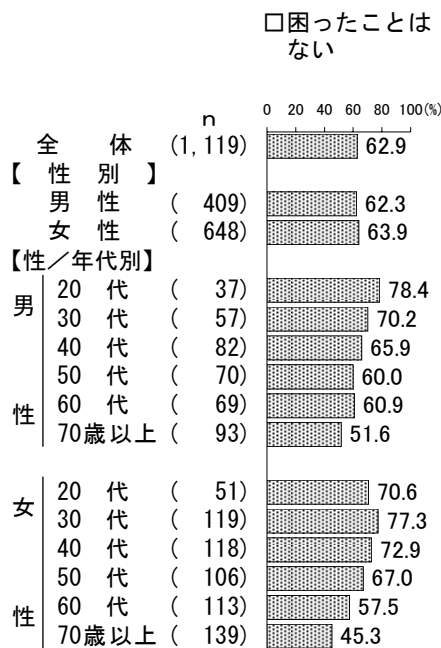
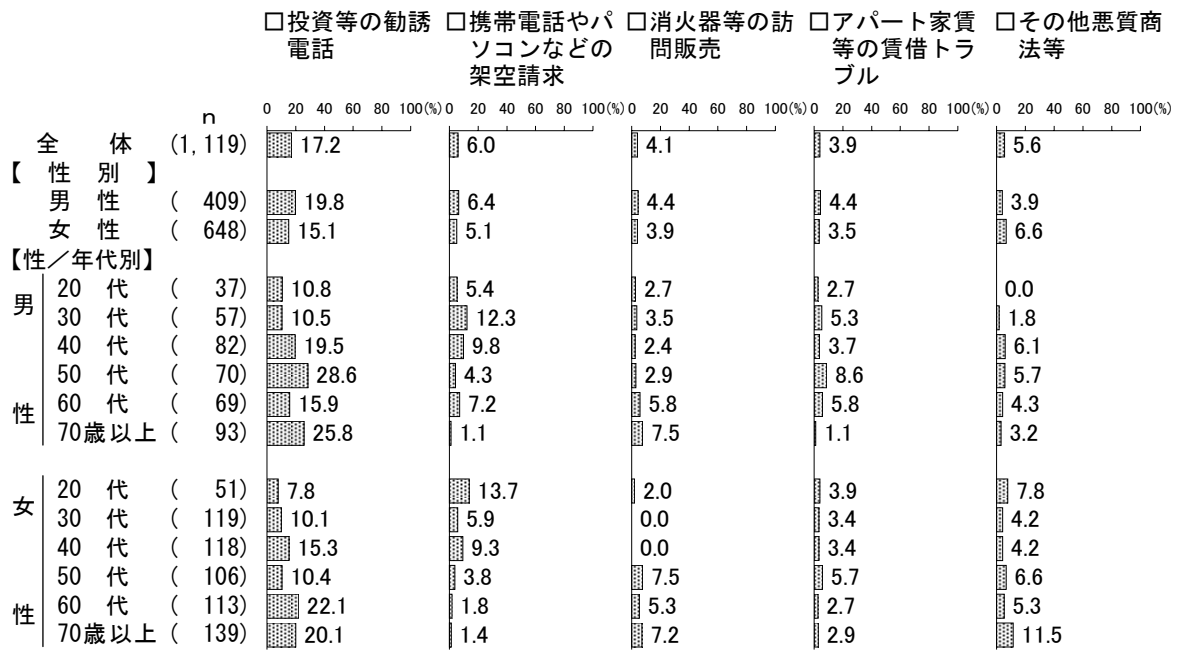
問 20 あなたは、下記のことについて困ったことはありますか。(〇はいくつでも)

図 11-2-1



生活の中で困ったことを聞いたところ、「投資等の勧誘電話」(17.2%)が2割近くと高く、次いで「携帯電話やパソコンなどの架空請求」(6.0%)、「消火器等の訪問販売」(4.1%)、「アパート家賃等の賃借トラブル」(3.9%)などの順になっている。一方、「困ったことはない」(62.9%)は6割を超えている。(図 11-2-1)

図 11-2-2 生活の中で困ったこと－性／年代別



性別でみると、「投資等の勧誘電話」は男性（19.8%）が女性（15.1%）より4.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「投資等の勧誘電話」は男性50代（28.6%）で3割近く、「携帯電話やパソコンなどの架空請求」は女性20代（13.7%）と男性30代（12.3%）で1割を超え高くなっている。一方、「困ったことはない」は男女ともにおおむね年代が低くなるほど割合が高く、男性20代（78.4%）と女性30代（77.3%）で8割近くと高くなっている。（図11-2-2）

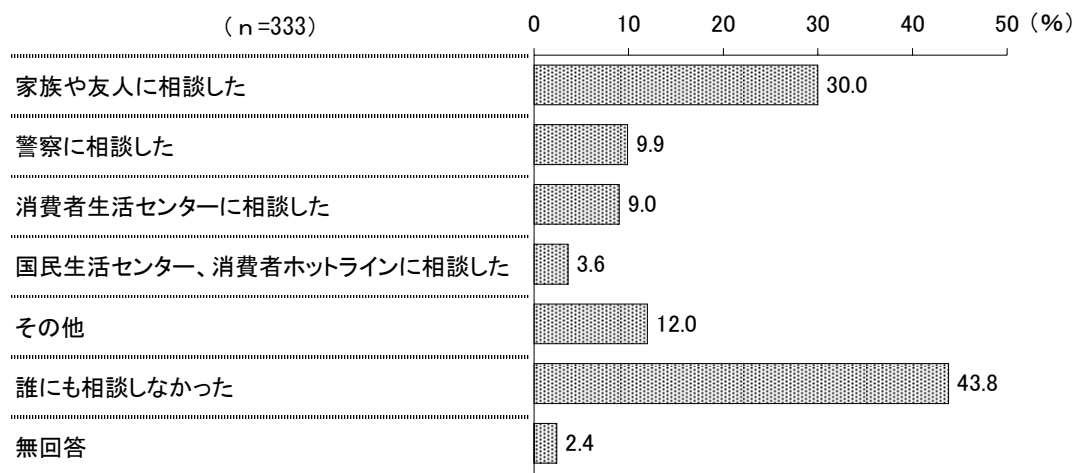
(3) 相談状況

◇「家族や友人に相談した」が3割、「誰にも相談しなかった」は4割を超える

(問 20 で、生活の中で「困ったことがある」と回答した方に)

問 20-1 あなたは、どなたかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

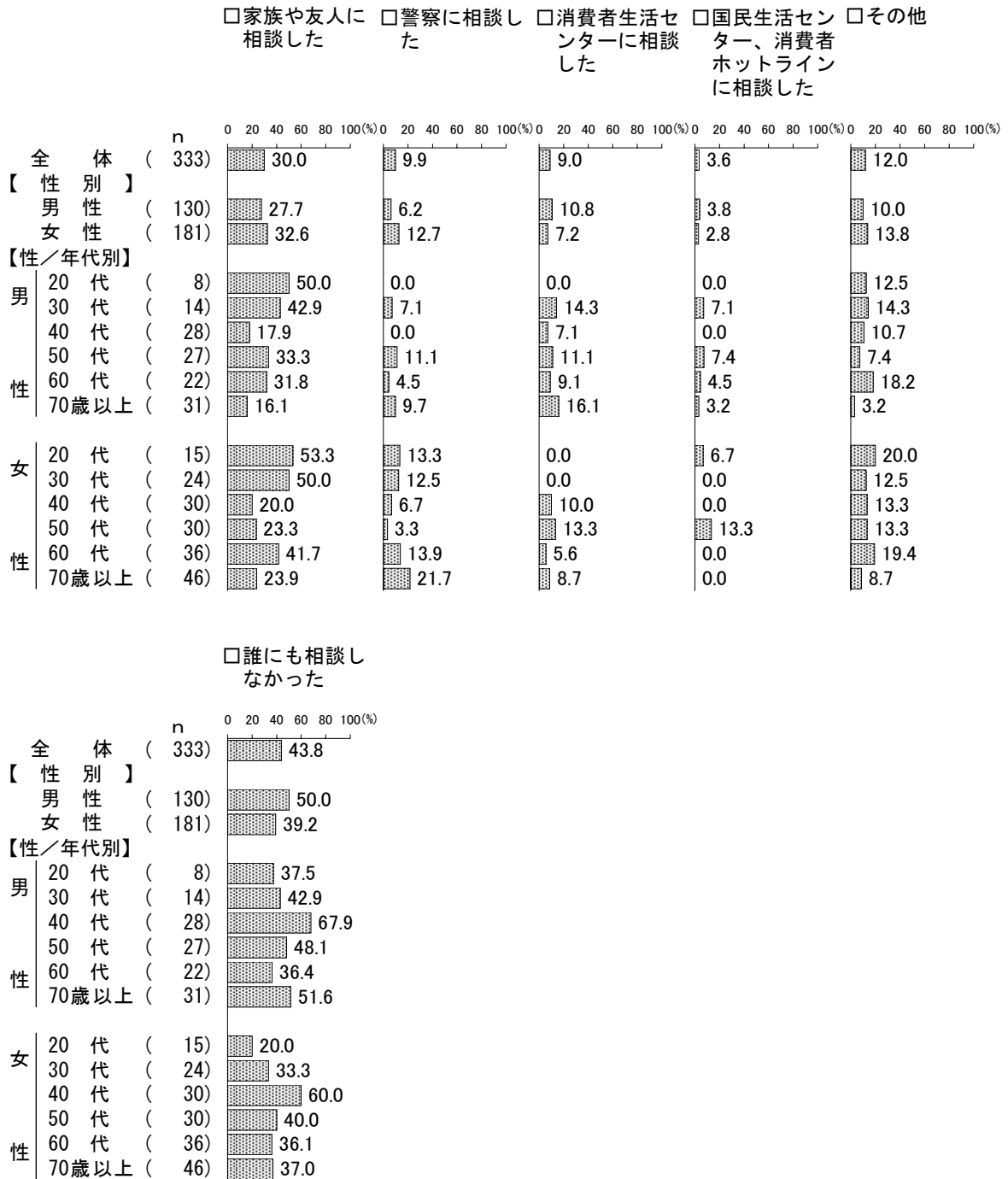
図 11-3-1



生活の中で「困ったことがある」と答えた人(333人)に、困ったときに誰かに相談したか聞いたところ、「家族や友人に相談した」(30.0%)が3割と高く、次いで「警察に相談した」(9.9%)、「消費者生活センターに相談した」(9.0%)、「国民生活センター、消費者ホットラインに相談した」(3.6%)の順になっている。一方、「誰にも相談しなかった」(43.8%)は4割を超えている。

「その他」への回答として、「弁護士」、「不動産屋」などがあげられている。(図 11-3-1)

図 11-3-2 相談状況一性／年代別



性別でみると、「警察に相談した」は女性（12.7%）が男性（6.2%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「誰にも相談しなかった」は男性（50.0%）が女性（39.2%）より10.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「家族や友人に相談した」は女性の20代（53.3%）と30代（50.0%）、男性20代（50.0%）で5割台と高くなっている。また、「警察に相談した」は女性70歳以上（21.7%）で2割を超え高くなっている。一方、「誰にも相談しなかった」は男性40代（67.9%）と女性40代（60.0%）で6割台と高くなっている。（図11-3-2）